News Release

コニカミノルタのインクジェット技術を活用したフィルム包装システムが「2026日本パッケージングコンテスト」の「ジャパンスター賞」を受賞

～刷版レス・ラベルレスで包装工程の効率化と環境負荷低減に貢献～

2026年9月9日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長 兼 CEO：大幸 利充、以下コニカミノルタ）は、株式会社フジキカイ（本部：愛知県北名古屋市、代表取締役社長：生田 涌希、以下 フジキカイ）、フジキカイのグループ会社の株式会社フジパックシステム（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：佐々 正樹、以下 フジパックシステム）、株式会社エムエスティ（本社：京都府城陽市、代表取締役：坂本 礼朗、以下 エムエスティ）、ダックエンジニアリング株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：髙城 清次、以下 ダックエンジニアリング）と共同開発したフィルム包装システム（以下 本システム）が、公益社団法人日本包装技術協会主催「2026日本パッケージングコンテスト」の最高賞である「ジャパンスター賞」（日本包装技術協会会長賞）を受賞したことをお知らせします。

本システムは、包装機上で包装フィルムへ直接インクジェット印刷を行うことで、刷版やラベルを不要とし、包装工程の生産効率向上と環境負荷低減に貢献します。

コニカミノルタは、水性インク、プライマーインクおよびインクジェットヘッド技術の開発を担当しました。

【受賞作品の特長】

■受賞作品名

「水系IJP（インクジェットプリンター）×包装機上でのダイレクト印刷でフィルム廃棄量を削減」

食品包装では、多品種・小ロット生産への対応や、包装工程の効率化が求められています。本システムは、こうした課題に対応するためにフジキカイ、フジパックシステム、エムエスティ、ダックエンジニアリング、コニカミノルタの５社で共同開発しました。

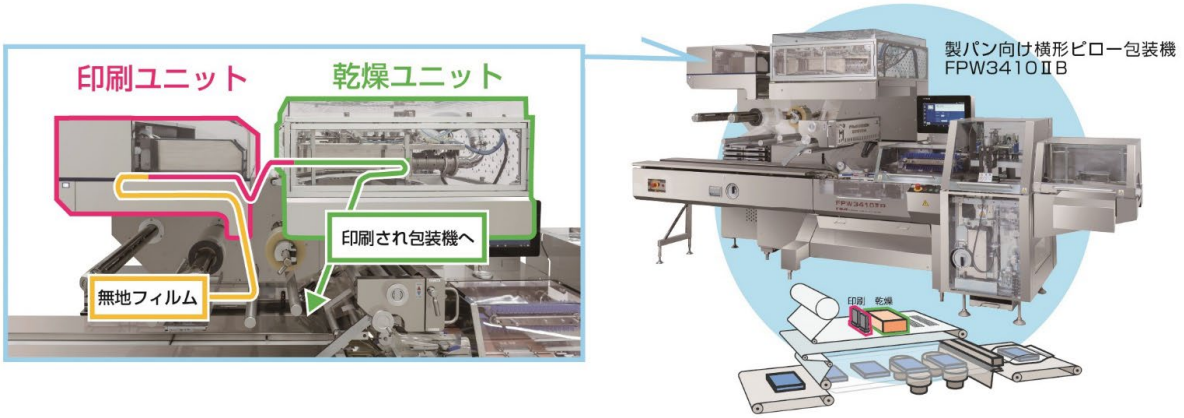
写真提供：フジキカイ

食品包装印刷では、包装フィルムへのグラビア印刷が主流です。また、グラビア印刷したラベルを製品に貼付する方法も広く用いられています。グラビア印刷は印刷スピードが速く、大量生産に強みがある一方で、包装する製品ごとに刷版作成が必要です。

本システムは、包装機に搭載したインクジェットプリンターで包装フィルムに直接印刷することができるため、刷版作成が不要になるとともに、ラベル作成や貼付にかかる工程も削減し、生産効率向上に貢献します。また、小ロット生産に対応できることから、グラビア印刷と比較すると包装する製品の切り替えや販売終了などに伴い廃棄するフィルムの量を大幅に削減します。さらに、グラビア印刷で必要となる刷版やラベル、熱転写リボンなどの資材使用量削減により、環境負荷低減およびCO_2排出量削減にも貢献します。

今回の受賞は、包装工程の効率化を目指す開発コンセプトや環境負荷低減効果が評価されたものと考えています。

受賞作品の作成に使用したフジキカイのフィルム包装システム

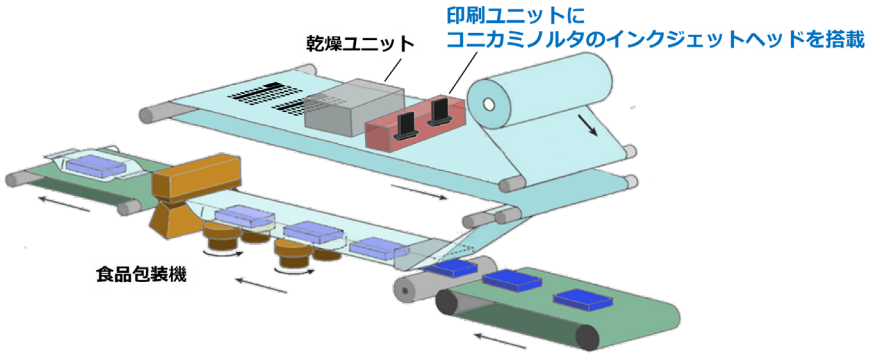


■各社の役割

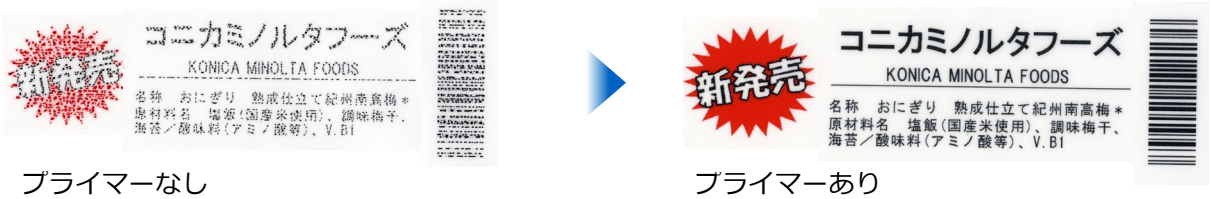
フジキカイ	食品包装向け横形ピロー包装機の開発
フジパックシステム	食品包装向け横形ピロー包装機の販売
エムエスティ	インクジェットプリンターの開発
ダックエンジニアリング	印字に関する画像検査技術の開発
コニカミノルタ	食品包装向け水性インクの開発、および包装機上で包装・印字を同時に実現するトータルソリューションの提供

【受賞作品に活用されたコニカミノルタのインクジェット技術】

包装フィルムへのインクジェット印刷には、コニカミノルタが開発した低臭で安全性の高い水性インクとプライマーインクが使用されています。両インクを組み合わせることで、フィルムとインクの密着性を高め、高精細な印刷を実現しました。インクは黒、赤、黄など複数色を取り揃え、多様な表示ニーズに対応可能です。また、コニカミノルタ独自の材料設計により水性インクの吐出に最適化したインクジェットヘッドを採用することで、高精細な印刷品質を安定して実現するとともに、生産性向上にも貢献します。



印刷イメージ



プライマーなし　　プライマーあり

【受賞コメント】

■フジパックシステム 代表取締役社長 佐々 正樹 様

このたびはジャパンスター賞という名誉ある賞をいただき大変光栄に思います。共同開発社の４社の皆様には深く感謝申し上げます。今後もフジキカイならではの技術力とフジパックシステムならではの発想力とで、より良い価値を創造し、包装業界の発展と社会への貢献に努めてまいります。

■エムエスティ 代表取締役 坂本 礼朗 様

このたび、本共同開発がジャパンスター賞という栄えある賞をいただけましたこと、大変光栄に存じます。本成果は、各社の強みを結集したシナジーの賜物であり、パートナー企業の皆様に深く感謝いたします。私たちが長年培ってきた技術が、新たな未来を切り拓く可能性として評価されたことを非常に誇らしく思います。この受賞を励みに、今後も妥協のないモノづくりを追求し、印字と印刷の可能性を広げていく取り組みを続けていく所存です。

■コニカミノルタ IJコンポーネント事業部長 大久保 賢一

このたびのジャパンスター賞の受賞を大変光栄に思います。本取り組みをともに推進いただいた共同開発各社の皆様に心より感謝申し上げます。コニカミノルタは独自のインクジェット技術を通じて、包装業界をはじめとしたモノづくりのワークフロー変革の可能性を追求してまいりました。今後もパートナーの皆様とともに、持続可能な社会の実現に向けた技術開発と市場展開を進めてまいります。

【「TOKYO PACK 2026」にて受賞作品を展示予定】

受賞作品「水系IJP×包装機上でのダイレクト印刷でフィルム廃棄量を削減」および「2026日本パッケージングコンテスト」入賞作品は、10月14日から東京ビッグサイトにて開催される展示会「TOKYO PACK 2026」の特設ブース「2026グッドパッケージング展」にて一般公開される予定です。

■展示会概要

展示会名	TOKYO PACK 2026 “東京国際包装展”
開催日時	2026年10月14日（水）～10月16日（金）　10:00～17:00
開催場所	東京ビッグサイト 東１～３、７、８ホール
主催	公益社団法人日本包装技術協会
公式サイト	https://www.tokyo-pack.jp/event/13994

【「日本パッケージングコンテスト」とは】

公益社団法人日本包装技術協会が主催する「日本パッケージングコンテスト」は、優れたパッケージングとその技術を開発普及することを目的に毎年開催される国内最大の包装関連コンテストです。1967年から開催され、今年で第48回目の開催となります。審査員が実物を見て審査を行い、最高賞のジャパンスター賞をはじめ、包装技術賞、包装部門賞が選定されます。

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社　広報部
担当：髙田　紗里 070-8833-6209